

令和 6 年度

神楽公民館地域フォーラム開催結果

公民館地域フォーラムとは？

地域や利用者の皆様に、公民館の事業や運営などへの理解を深めていただくこと、また、皆様の意向を公民館運営に生かすため、自由に話し合い、共に考える場です。

<概 要>

日 時 令和 6 年 1 1 月 1 2 日（火） 1 4 時 0 0 分～ 1 5 時 1 0 分
場 所 神楽公民館 第 1 学習室
参加者 6 名（公民館利用者）
進 行 神楽公民館長

<フォーラムの進め方>

第 1 部 神楽公民館の概要説明

当館の沿革、施設、生涯学習活動団体、事業活動実施状況、利用者の傾向と利用者数の推移等の概要説明をしました。

第 2 部 意見交換

参加者で、公民館の施設、事業運営の在り方等について意見交換をしました。

<頂いたご意見>

公民館施設について

- ・老朽化が進んでいると感じる。窓の破れたビニールも古さを感じる。
- ・利用者数の割にはトイレの数が少ない。
- ・神楽公民館の建物は木々に覆われ、道路から見えない。公民館を利用したことがない人は公民館の場所が分からないと思う。
- ・駐車場が広く、便利である。

公民館事業について

- ・年齢がいくつになっても『達成感』を味わうことはとても気持ちのいいものである。公民館ではいろいろな達成感を得られた。
- ・連続講座について、初めは新鮮で楽しかったが 1 0 年も経つとマンネリ化してくる。
- ・連続講座に参加し始めた 1 0 年前は、1 日を通して講義が設定されていたため、お昼に弁当を持参し食べていたが、その時間が楽しい交流の時間であった。

- ・学びの成果発表について個人の成果発表の場がない。公民館利用者の中には素晴らしい経歴、経験を持つ方もいる。そういった方をうまく活用していくと、活性化されるのではないか。

公民館利用者について

- ・自分自身が働いていた頃は日々とても忙しく、公民館、地域活動等に参加することができなかったため、地域の方と仲良くなるために定年後は老人会や公民館事業に参加しようと以前から決めていた。
- ・周囲では趣味より働くことを選ぶ人が多い。
- ・公民館のイベント等に自由に行ける人、行けない人がいる。「行けない人」というのは忙しい人を含むが、最近は忙しい人が多いように思える。
- ・年齢を重ねると、講座の内容よりも、そこで人と交流できることの方が大切に思えてきた。
- ・参加者同士が仲間になっていかなければ、その集まりから人が減っていく。
- ・「集う」ことから人々が離れている。ゲームやインターネットの発展等社会の仕組み自体も「集う」ことから離れている。

公民館への要望、意見について

- ・活動的な人は公民館等の力を借りなくても自分自身でどんどん動き、学んでいく。公民館はそうではない人への支援をするため、時代のニーズに合った講座を展開し、参加を促してほしい。
- ・日々の生活を豊かにするための『何か』を求めている人はたくさんいると思うが、その『何か』が分からない人もたくさんいる。その人達にヒントを提供することが必要。
- ・実施しているたくさんの事業や、数多くある登録サークルの周知。参加したいと思う人はたくさんいると思う。
- ・公民館が土日開館していること、土日にサークル活動をしていることの周知が必要。土日に仕事が休みである人が多いと思うが、休日に利用できることを知らない人が多いと思う。

<要望に対する今後の対応について>

- ・アンケート調査結果や利用者へ直接お尋ねするなどして、市民ニーズを把握し、事業の企画、運営を行ってまいります。
- ・神楽公民館では、公民館に登録し定期的に例会を開催している団体の活動を見学、体験できる「サークル体験会」を平日及び土日に開催しています。
この体験会については市民こうほうに掲載しており、今後も引き続き実施するとともに、毎年10月に実施する神楽市民交流センターまつりにおいて、当該団体の成果発表を行っていきます。
- ・また、当公民館では2か月に1回、木楽輪にて開催する音楽コンサート「夢コンサート」等土日にも事業を実施しており、こういった機会も利用し公民館の休日利用をPRしていきます。



フォーラムの様子

参加者の皆様からは貴重な御意見，御提言をいただき，誠にありがとうございました。

いただいた御意見等につきましては，今後の神楽公民館の運営や事業活動に反映させるよう努めてまいります。

今後とも，神楽公民館運営等に御理解と御協力を賜りますよう，よろしくお願い申し上げます。